

令和 5 (2023) 年度
「長岡大学数理・データサイエンスプログラム」自己点検・評価

- ◆プログラムの改善・進化させるための体制（カリキュラム検討委員会）
 - ・本プログラム改善の PDCA 管理、進捗管理
 - ・適宜、プログラム授業担当教員（3名）と直接連携
 - ・教務委員会・FD 部会との連携
 - 履修関連の管理。マンツーマン面談情報・授業アンケート調査を通じた授業改善提案

- ◆自己点検・評価体制（大学評価室（自己点検・評価委員会））
教学関連・学内外評価データで分析・チェック

- ◆地域社会との連携（長岡大学「地（知）の拠点」事業推進協議会）
学外委員 9 名（商工会議所、商工会、市役所、市内高等学校、異業種交流団体 NPO、他）
毎半期、教育プログラムを評価（4 段階評価の採点含む）

◆自己点検・評価、外部評価の結果

〈自己点検・評価〉

令和 5 (2023) 年度の教育プログラムに関して、大学評価室（自己点検・評価委員会）において概ね適切に実施されたことを確認した。評価において参照したデータは以下のとおり。

(1) 同プログラムの履修・修了状況

- ・履修者数…39 人（学内割合 8.7%：収容定員数 450 人に対する比率）
- ・修了者数…30 人（学内割合 6.7%：同上）
- 学年別の履修と成績は下記のとおり：
 - ・令和 5 (2023) 年度の本プログラム構成科目「データサイエンス基礎」の履修者数と成績：
 - ・1 年生 30 人（評価：「S」3 人、「A」5 人、「B」10 人、「C」5 人、「D」5 人、「失格」2 人）
 - ・2 年生 1 人（評価：「S」1 人、「A」0 人、「B」0 人、「C」0 人、「D」0 人、「失格」0 人）
 - ・3 年生 7 人（評価：「S」0 人、「A」2 人、「B」1 人、「C」3 人、「D」1 人、「失格」0 人）
 - ・4 年生 1 人（評価：「S」0 人、「A」0 人、「B」0 人、「C」0 人、「D」0 人、「失格」1 人）

(2) 授業理解度等の状況～授業満足度調査の結果から：

本プログラム構成科目「データサイエンス基礎」（令和 5 (2023) 年度）について実施された調査（調査期間：令和 5 (2023) 年 12 月～令和 6 (2024) 年 1 月）の集計結果（履修者数 39 名、回答者 33 名、回答率 84.6%）は以下のとおり：

- ・授業内容は理解できたか：
 - 「その通りだと思う」45.5%、「だいたいそう思う」27.3%、「あまりそう思わない」27.3%、「全くそう思わない」0%
- ・新しい知識・技能が身についたか：
 - 「その通りだと思う」66.7%、「だいたいそう思う」30.3%、「あまりそう思わない」0%、「全くそう思わない」3.0%

〈外部評価の結果〉

教育体制の改善に向けた内部質保証の一環として毎半期開催している「長岡大学『地（知）の拠点』事業推進協議会」において、教育カリキュラム等を始め教育内容全般を評価頂いている。

令和6(2024)年3月12日開催の令和5(2023)年度第2回協議会で、本プログラムの内容と実施状況を報告し、さらに令和6(2024)年度以降の入学者について本プログラム修了が卒業要件になる変更を解説し、意見をいただいた。

同協議会后に各委員から提出頂いた令和5(2023)年度の項目別評価票によると、本教育プログラムを含むカリキュラム改善に向けた取組への評価(4段階評価)は、「大いに評価できる」7名、「評価できる」1名、「あまり評価できない」0名、「全く評価できない」0名という結果であった(1名欠席により8名が提出)。